

黒滝村の道の駅に モンベルオープン



テープカットでオープンを祝った

アウトドアスポーツ用品の企画や製造などを手掛ける株式会社モンベル(大阪市西区・辰野丘史代表取締役)は17日、黒滝村長瀬にある道の駅吉野路黒滝内に「モンベルーム 吉野路黒滝店」をオープンした。フランチャイズで村森林組合が運営する。店舗では登山や水遊びに使用するアウトドア用品の他、林業向けの衣料品など約1000種の商品を取り扱う。今後、関係人口創出に向けたイベント開催も検討している。

出店する店舗で人口最少の地に

モンベルは現在、県内に7店舗を展開し、このうち2店舗がフランチャイズ運営。吉野路黒滝店は、旧南都銀行黒滝支店の跡地に出新した。令和4(2022)年に村が土地と建物を購入し、地域活性化のために活用する事業者を募り、それに

応募した同村森林組合が選ばれ、今回の出店に至った。村の森林組合は以前からモンベルが展開する林業用品の開発に協力している。現在販売しているチェーンソーの刃が当たる可能性がある箇所に特殊保護材を内蔵した林業用ウェアなどの開発にも携わっている。

店舗オリジナルデザインTシャツも取り扱う。また、店舗入口には村森林組合員が手がけたチェーンソーアート作品のクマが飾られ、訪れた人のフォトスポットになっていた。同日、オープニングセレモニーが開かれ、モンベルの辰野会長や貝本博幸組合長、植田忠三郎村長らが出席。テープカットでオープンを祝った。

辰野「意外性がありワクワクする」

をすることがモチベーションになり、人が寄ってくる。そういうワクワクすること。これを約50年続けてきた。その延長上が今回のオープンだと思っている。これは登山家のキーステーシ



チェーンソーアートで作られたクマと一緒にポーズを取る辰野会長



オープニングセレモニーで植田村長はじめ関係者があいさつ



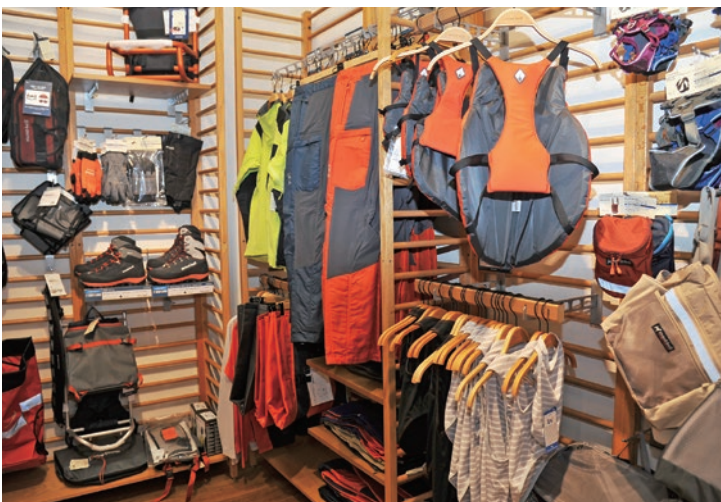
村森林組合の梶谷哲也さんによるチェーンソーアート実演も



店内には1000種の商品が並ぶ



この店舗のみ販売するオリジナルデザインTシャツ



林業用アイテムも取り扱う



道の駅吉野路黒滝内の旧南都銀行を改装してオープンした